

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>		2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成24年度		<b>担当課室</b>	競技スポーツ課			競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)		—		<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)		ラグビーワールドカップが開催される2019年を視野に、継続してラグビーの普及啓発を行える団体に事業を委託する。 1. 「タグラグビー」を活用して、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象にラグビーの普及・拡大を図る。 2. 平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。 3. 女性指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するため講習会等を開催する。							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	/					22
			補正予算	/					
			繰越し等	/					
			計	/					22
		執行額	/						
執行率(%)	/								
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (31年度)
		小・中学生の競技者数		成果実績	人	/			50,000
				達成度		/			
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		学外クラブ活動回数		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	※24年度の活動見込である
						—	—	( — )	300
<b>単位当たりコスト</b>		学外クラブ活動1回当たりのコスト (73,410円/1回)		算出根拠	単位当たりコスト＝平成24年度2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業予算要求額(円)22,023,000円/回数(300回)				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>		23年度当初予算	24年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	スポーツ振興事業委託費		—	22百万円					
	計		—	22百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、スポーツ立国戦略(平成22年8月26日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである、「国際競技大会等を積極的に招致・開催し、競技力向上を含めたスポーツの振興、地域の活性化等を図る」ための事業であり、広く国民のニーズに応える事業である。また、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)においては、「国際競技大会の我が国への招致又はその開催が円滑になされるよう、環境の保全に留意しつつ、そのための社会的機運の醸成(中略)に必要な特別な措置を講ずるものとする」と規定されており、2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向け、ラグビーの普及啓発を図る本事業は、国の責務として実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
22百万円

2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。



【公募・委託】

A. 2019年ラグビーワールドカップ  
普及啓発事業：  
22百万円  
民間団体

障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」を活用したラグビーの普及・拡大、平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。また、女性の指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するための講習会等を開催する。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位：百万円)

A民間団体			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	実技指導謝金、メディカルサポート謝金	11			
昔料及び損料	拠点クラブ会場借料	5			
消耗品費	タグラグビーセット、ラグビー用品	2			
旅費	講師旅費	2			
雑役務費	指導マニュアル映像撮影作成費	2			
計		22	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)